

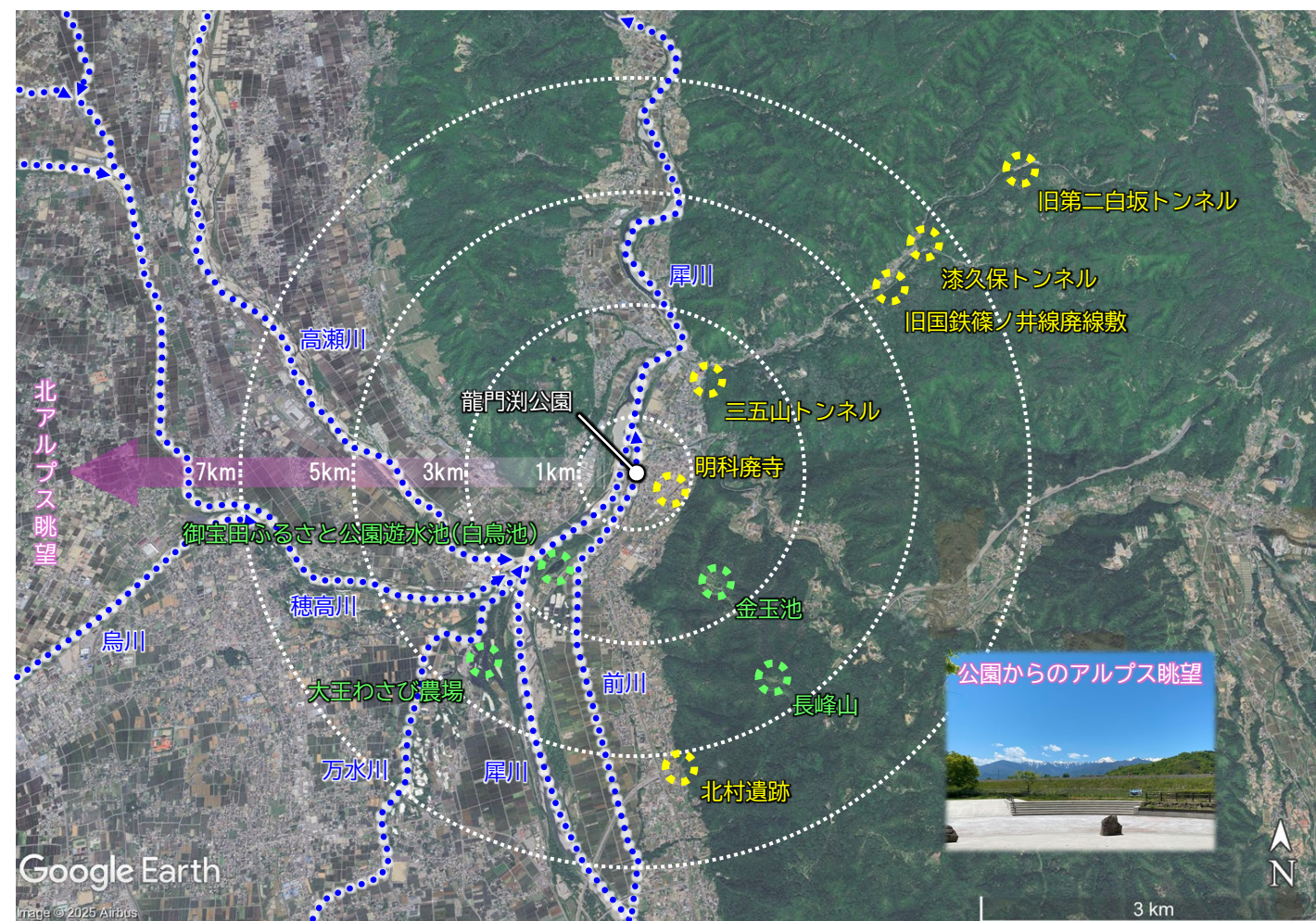
◇ 対象公園の現状と課題

龍門渚公園は松本駅直結の JR 明科駅から西側約 500mの徒歩圏内に位置しており、公園と隣接する犀川、前川が豊かな水辺環境を形成する約 3.6ha の近隣公園です。

公園内には、親水池や遊具広場、野球場、テニスコート、芝生広場などが整備されており、地域や近隣保育園の子ども遊び場、市民の体力づくり、散策、憩い、イベント開催等の場として利用されています。

一方、龍門渚公園は昭和 59 年の全体供用以降、約 40 年が経過した公園となっており、公園施設の更新が段階的に進む一方、樹木の肥大化を要因とした見通しの悪化、閉鎖的な空間が形成されつつあることから、再整備による明るく開放的な空間形成や公園全体の一体利用、面的な利用促進が望まれる状況となっています。

なお、龍門渚公園が位置する明科地域は、自然資源や歴史文化と関連する地域資源がコンパクトに集中する独自性の高いエリアとなっていることから、市は、龍門渚公園を明科地域のにぎわいの発信地として再整備を推進するとともに、明科地域の山・川・空でのアウトドア、歴史文化、人との連携により、地域内外の交流促進を目指す『安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想（令和 6 年 3 月）』（資料 3）を策定しています。



龍門渚公園周辺エリアの状況（：河川、：自然資源、：歴史文化資源）

◇ 対象公園周辺の主な利活用状況

オープンスペースを活用した多様なイベント開催

①信州安曇野薪能

地域の協力のもと、安曇野市の芸術文化の向上並びに観光振興を図るため、水郷明科薪能として 1991 年からの毎年 8 月、龍門渚公園の多目的広場にて開催されています。

②信州安曇野あやめまつり

龍門渚公園と隣接するあやめ公園は花菖蒲の名所として知られており、花菖蒲の見頃となる毎年 6 月、民間団体によって信州安曇野あやめまつりが開催されています。



信州安曇野薪能



信州安曇野あやめまつり

豊かな水辺環境を活かしたウォーターアクティビティ

龍門渚公園と隣接する犀川、前川では、カヌーやカヤック、釣りなどのウォーターアクティビティが盛んです。特に、龍門渚公園内を縦断する前川は、年間を通じて概ね一定水量を保つことから、公園と接する一部区間にカヌースラロームコースが設置され、複数のスラローム大会を通じて全国から多くの方が利用する場となっています。

市は、これらの水資源を活用した水と親しむ環境づくりを推進するため、地域やカヌー競技者と協働のもと、前川の河川整備（競技エリア整備）による更なる賑わい形成を目指しています。本事業の公園運営についても、河川の利用団体との協働により、河川と公園の相互利用による質の高いサービス提供を目指します。



龍門渚公園親水池（左）・前川（右）のリバースポーツ体験

◇ 公民連携事業の実施方針

『安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想（令和6年3月）』に基づき、本事業では以下の実施方針に基づく龍門渚公園の整備を検討します。※基本構想内の整備イメージはモデルプランの1例としてご覧ください。

事業スキームについては現時点で未定のため、サウンディング型市場調査を通じて最適な事業手法を検討する予定となっています。

事業コンセプト	人、自然、歴史が“巡る”水郷の にぎわい合流拠点 水辺のアウトドアの中心地である龍門渚公園周辺を明科地域のにぎわいの発信地と位置づけ、 ➢ 川から里山、空までまち全体をつなぎ、誰もが楽しめる拠点とする。 ➢ 子から高齢者まで幅広い世代が地域内外から集まり、出会いや活動が生まれる拠点とする。
---------	---

目指す将来像	□ 拠点の賑わいが公園内にとどまらず明科地域全体へ波及すること（地域の活性化） □ 子どもたちが明科を好きになり次世代へとつながること（シビックプライドの醸成） □ ガイドやインストラクターによる自然体験、来訪意欲を高める魅力発信（関係人口の増加） □ 河川利用団体との協同運営による高質なサービス提供（リバーパークの実現）
--------	--

具体的な施設機能	① 水辺のアウトドア拠点となるセンターハウス【建物】 ② リバースポーツの利用促進に資するサービス提供（受付、レンタル、更衣、休憩、シャワー等） ③ 地域内外の人々が気軽に利用できる憩いの場（飲食機能） ④ 地域の魅力発信や周辺観光につながる宿泊機能やインフォメーション機能 ⑤ 子どもたちがのびのびと安全に遊べる明るく開放的なオープンスペース ※①～⑤の施設機能は集約型や分散配置、屋内利用、屋外利用等の形態を問いません。
----------	---

💡事業性や実現可能性を踏まえ、事業コンセプトや目指す将来像に沿っていれば、魅力的な公園づくりに寄与する自由提案として、①～⑤以外の内容も可能とします。

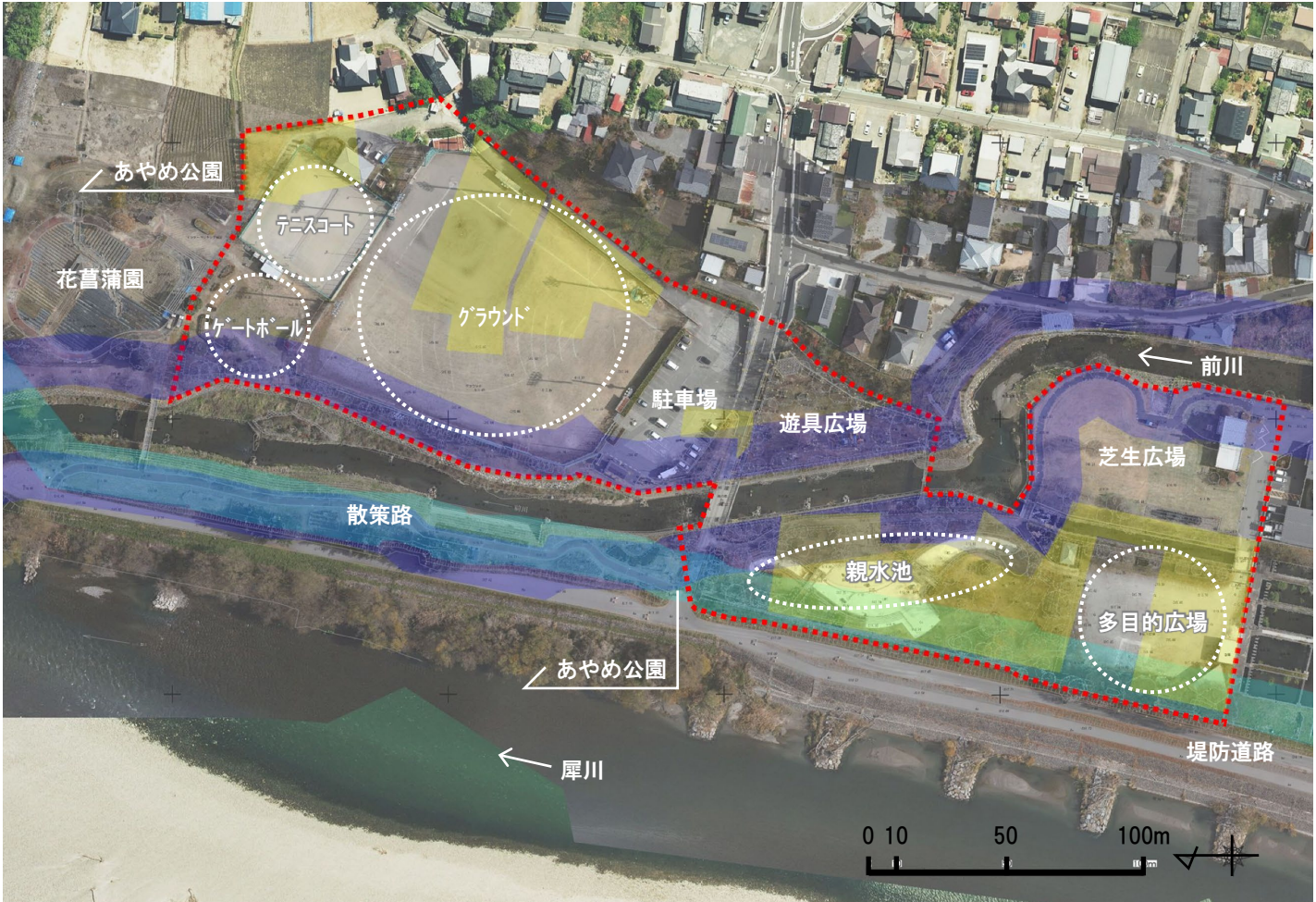
◇ 事業スケジュール（案）

事業手法	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
公設民営型 （指定管理）	サウンディング 型市場調査及び 事業化検討	基本設計・実施設計		工事／事業者公募・選定	事業開始 ※事業期間は事業条件による。
民設民営型 （設置管理、P-PFI等）		事業者公募・選定	設計・工事		

※今後の事業検討により適宜見直しを行います。

◇ 公民連携事業の導入検討エリアと制限・配慮事項

- ①河川保全区域（前川、犀川）
- 河川保全区域内で新たな公園施設を整備する場合、河川管理施設（堤防）の安定を損ねないように、堤防法尻等から適切な離隔をとった位置での公園施設整備が求められます（詳細は資料4を参照）。
- ②広範囲の借地
- 親水池やグラウンド周辺に借地が存在しており、借地内で公民連携事業を行う場合には、事業期間中の途中解約等の不確定なリスクがある点に注意が必要となります。
- ③現状利用への配慮
- 以下のエリアは現状の公園利用状況に配慮し、基本的に公園再整備の対象外とします。
- 多目的広場：信州安曇野薪能の開催スペースとして舞台、観客席等が一時的に設置されています。
 - グラウンド・テニスコート：一定数の施設利用者が存在します。
 - ゲートボール：信州安曇野あやめまつりのステージ設置場所として一時的に活用されています。
- ④適化法の関係
- 以下の施設は国庫補助を活用した施設整備から間もないため、基本的に公園再整備の対象外とします。
- 親水池本体、遊具広場の大型遊具



.....：事業検討エリア（龍門渚公園）、■：河川保全区域（前川）、■：河川保全区域（犀川）、■：借地

◇ 公園整備概況



◇ 公園利用動線



◇ 上下水道参考経路図（本管）

